PACKAGING STRUCTURE OF MAGNETIC DISK DEVICE

Patent number:

JP7169245

Publication date:

1995-07-04

Inventor:

OOURA NORIHIRO

Applicant:

NEC CORP

Classification:

- international:

G11B25/04; G11B33/12

- european:

Application number:

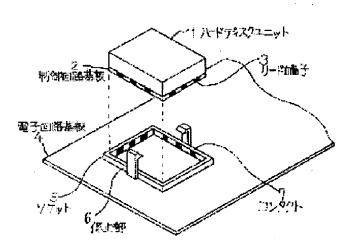
JP19930316159 19931216

Priority number(s):

Abstract of JP7169245

PURPOSE:To simply mount a magnetic disk device directly on an electronic circuit board in a case of an electronic equipment by a small number of parts.

CONSTITUTION:A hard disk unit 1 is electrically connected with a lead terminal 3 of a control circuit board 2. Then, a socket 5 provided with contacts 7 is equipped on an electronic circuit board 4, and is electrically and mechanically connected to the lead terminal 3 by a retaining part 6 of the socket to complete the packaging. By this constitution, the packaging is easy, and also reliability can be enhanced by efficiently radiating heat to be generated inside the hard disk unit.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

the control of the co

and the second s

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-169245

(43)公開日 平成7年(1995)7月4日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

 \mathbf{F} I

技術表示箇所

G 1 1 B 25/04 33/12 101 R

313 S

審査請求 有 請求項の数5 OL (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平5-316159

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

(22)出願日

平成5年(1993)12月16日

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 大浦 教宏

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株

式会社内

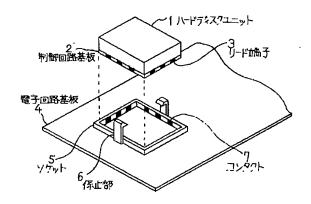
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54) 【発明の名称】 磁気ディスク装置の実装構造

(57)【要約】

【目的】少ない部品点数で簡単に磁気ディスク装置を電子機器の筐体内に設けられた電子回路基板に直接搭載できる磁気ディスク装置の実装構造を提供すること。

【構成】ハードディスクユニット1と、ハードディスクユニット1と電気的に接続され、各端面に電子機器の筐体内に設けられた電子回路基板4と電気的・機械的に接続される複数のリード端子3を設けた制御回路基板2と、電子回路基板4上に形成され、複数のリード端子3とそれぞれ電気的・機械的に接続される複数のコンタクト7を有するとともにハードディスクユニット1および制御回路基板2を係止する係止部6を有するソケット5とを備えている。



À

٠.١

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 磁気ディスク媒体、スピンドルモータ、 磁気ヘッドおよび磁気ヘッド駆動部を含むハードディス クユニットと、

前記ハードディスクユニットの下面に配置され、該ハー ドディスクユニットおよび電子機器と信号を送受信する のに必要な電子回路および電源を搭載し、各端面に該電 子機器の筐体内に設けられた電子回路基板と電気的に接 続される複数のリード端子を設けた制御回路基板と、

とそれぞれ電気的・機械的に接続される複数のコンタク トを有するソケットとを備えたことを特徴とする磁気デ ィスク装置の実装構造。

【請求項2】 前記ソケットの1対の対向する辺の外側 面に前記複数のリード端子と前記複数のコンタクトとが それぞれ電気的・機械的に接続された状態で前記ハード ディスクユニットの側面および上面を係止する係止部を 備えたことを特徴とする請求項1記載の磁気ディスク装 置の実装構造。

【請求項3】 磁気ディスク媒体、スピンドルモータ 磁気ヘッドおよび磁気ヘッド駆動部を含むハードディス クユニットと

前記ハードディスクユニットの下面に配置され、該ハー ドディスクユニットおよび電子機器と信号を送受信する のに必要な電子回路および電源を搭載し、各端面に該電 子機器の筐体内に設けられた電子回路基板と電気的に接 続される複数のリード端子を設けた制御回路基板と、

前記電子回路基板上に形成され、前記複数のリード端子 とそれぞれ電気的・機械的に接続される複数のコンタク トを有し、1対の対向する辺の外側面に溝部を設けたソ 30 ケットと、

下面が前記ハードディスクユニットの上面と接触する放 熱部と、一端を該放熱部の側面に固着するとともに他端 を前記溝部と係合する1対のフック部とから成る保持部 材とを備えたことを特徴とする磁気ディスク装置の実装 構造。

【請求項4】 前記保持部材の前記放熱部は上面に複数 のヒートシンクを有し、熱伝導性の良好な部材から成る ことを特徴とする請求項3記載の磁気ディスク装置の実 装構造。

【請求項5】 前記保持部材の前記フック部は略コ字状 に曲折して形成され、前記複数のリード端子と前記複数 のコンタクトとがそれぞれ電気的・機械的に接続された 状態で前記他端を前記溝部に係合させて、前記放熱部の 下面を前記ハードディスクユニットの上面に押し付ける ことを特徴とする請求項3記載の磁気ディスク装置の実 装構造。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、軽量かつ小型の磁気デ 50 信頼性を向上させる磁気ディスク装置の実装構造を提供

ィスク装置に関し、特に電子機器等の筐体内に設けられ た電子回路基板に搭載可能な磁気ディスク装置の実装構 造に関する。

[0002]

【従来の技術】図5および図6を参照すると、従来の磁 気ディスク装置の実装構造は、少なくとも1つの磁気デ ィスク媒体、この磁気ディスク媒体を回転させるスピン ドルモータ、少なくとも1つの磁気ヘッドおよびこの磁 気ヘッドを移動させる磁気ヘッド駆動部を筐体内に収納 前記電子回路基板上に形成され、前記複数のリード端子 10 して組み立てられたハードディスクユニット 1 と、この ハードディスクユニット1の下面に取り付けられ、ハー ドディスクユニット1を制御するとともに電子機器と信 号を送受信するのに必要な電子回路および電源を搭載す る制御回路基板2と、この制御回路基板2の1つの端面 に設けられ電子機器との間で信号のやり取りを行うイン ターフェイスコネクタ10と、両端にネジ穴を有し、イ ンターフェイスコネクタ10の下面からハードディスク ユニット 1 および制御回路基板 2 を支持するフレーム 1 1と、両端にフレーム11のネジ穴と対応するネジ穴を 20 有し、これらネジ穴を位置決めした後ネジ12を介して フレーム11と固定され、さらに電子機器の筐体内に設 けられた電子回路基板4上にネジ12を介して固定され る固定金具13と、制御回路基板2に設けられたインタ ーフェイスコネクタ10と電子回路基板4とを電気的に 接続する信号ケーブル14および電源ケーブル15とを 備えている。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、この従 来の磁気ディスク装置の実装構造は以下に示すような問 題点を有している。

【0004】第1に、ハードディスクユニットおよび制 御回路基板を電子機器の筐体内に設けられた電子回路基 板上に搭載するときインターフェイスコネクタ、フレー ム、ネジ、固定金具、信号ケーブルおよび電源ケーブル を用いているため、電気的・機械的な接続を行うのに必 要な部品の点数が増加してしまう。

【0005】第2に、ハードディスクユニット内部のス ピンドルモータあるいは磁気ヘッド駆動部から発生する 熱はハードディスクユニット外部に伝わり難いため、ハ 40 ードディスクユニット内部の温度が著しく上昇し、その 結果ハードディスクユニット自体の信頼性を悪化させて しまう。

【0006】本発明の主な目的は、上記の問題点を解決 し、少ない部品点数で簡単に磁気ディスク装置を電子機 器の筐体内に設けられた電子回路基板に直接搭載できる 磁気ディスク装置の実装構造を提供することにある。

【0007】さらに、本発明の他の目的は、電子回路基 板上に搭載されたハードディスクユニット内部で発生す る熱をハードディスクユニット外部に効率良く放熱して

することにある。

[0008]

【課題を解決するための手段】本発明の磁気ディスク装 置の実装構造は、磁気ディスク媒体、スピンドルモー タ、磁気ヘッドおよび磁気ヘッド駆動部を含むハードデ ィスクユニットと、前記ハードディスクユニットの下面 に配置され、該ハードディスクユニットおよび電子機器 と信号を送受信するのに必要な電子回路および電源を搭 載し、各端面に該電子機器の筐体内に設けられた電子回 路基板と電気的に接続される複数のリード端子を設けた 10 タクト7とが電気的・機械的に接続された状態でハード 制御回路基板と、前記電子回路基板上に形成され、前記 複数のリード端子とそれぞれ電気的・機械的に接続され る複数のコンタクトを有するソケットとを備えている。 【0009】また、本発明の他の磁気ディスク装置の実 装構造は、磁気ディスク媒体、スピンドルモータ、磁気 ヘッドおよび磁気ヘッド駆動部を含むハードディスクユ ニットと、前記ハードディスクユニットの下面に配置さ れ、該ハードディスクユニットおよび電子機器と信号を 送受信するのに必要な電子回路および電源を搭載し、各 端面に該電子機器の筐体内に設けられた電子回路基板と 電気的に接続される複数のリード端子を設けた制御回路 基板と、前記電子回路基板上に形成され、前記複数のリ ード端子とそれぞれ電気的・機械的に接続される複数の コンタクトを有し、1対の対向する辺の外側面に溝部を 設けたソケットと、下面が前記ハードディスクユニット の上面と接触する放熱部と、一端を該放熱部の側面に固 着するとともに他端を前記溝部と係合する1対のフック 部とから成る保持部材とを備えている。

 $\{0010\}$

【実施例】次に、本発明の実施例について図面を参照し 30 て詳しく説明する。

【0011】図1を参照すると、本発明の第1の実施例 は、少なくとも1つの磁気ディスク媒体、この磁気ディ スク媒体を回転させるスピンドルモータ、少なくとも 1 つの磁気ヘッドおよびこの磁気ヘッドを移動させる磁気 ヘッド駆動部を筐体内に収納して組み立てられたハード ディスクユニット1と、このハードディスクユニット1 の下面に取り付けられ、ハードディスクユニット1を制 御し、電子機器と信号を送受信するのに必要な電子回路 に設けられた電子回路基板4と電気的・機械的に接続さ れる複数のリード端子3を設けた制御回路基板2と、電 子回路基板4上に形成され、複数のリード端子3とそれ ぞれ電気的・機械的に接続される複数のコンタクト7を 有するとともにハードディスクユニット1および制御回 路基板2を係止する係止部6を有するソケット5とから 構成される。

【0012】ソケット5は、電子機器の筐体内に設けら れた電子回路基板4上にハードディスクユニット1およ び制御回路基板2を囲み、かつハードディスクユニット 50 クト7および1対の溝部5aを有するソケット5と、ハ

1 および制御回路基板2 が占める面積よりも僅かに大き く形成されている。

【0013】また、ソケット5は、ハードディスクユニ ット1および制御回路基板2を挿入するとき制御回路基 板2の各端面に設けられた複数のリード端子3とそれぞ れ電気的・機械的に接続される複数のコンタクト7を各 辺の内側面に有している。

【0014】さらに、ソケット5は、1対の対向する辺 の外側面に固着され、複数のリード端子3と複数のコン ディスクユニット1を弾性的に挟み込みながら固定する 係止部6を有している。

【0015】係止部6は弾性を有する部材から成り、互 いに向かい合う方向に沿って弾性的に変位する。

【0016】制御回路基板2のリード端子3およびソケ ット5のコンタクト7は、それぞれ信号および電源をや り取りしている。次に第1の実施例の接続動作について 図1および図2を参照して説明する。

【0017】初めに、ソケット5の1対の対向する辺の 20 外側面に固着された係止部6を互いに外側方向に変位さ せる。

【0018】次に、ハードディスクユニット1および制 御回路基板2から成る磁気ディスク装置を電子回路基板 4上のソケット5に挿入して、制御回路基板2の各端面 に設けられた複数のリード端子3とソケット5の各辺の 内側面に設けられた複数のコンタクト7とを電気的・機 械的に接続する。

【0019】最後に、複数のリード端子3と複数のコン タクト7とがそれぞれ電気的・機械的に接続された状態 で、係止部6を互いに内側方向に弾性的に変位させてハ ードディスクユニット1を電子回路基板4上に係合す。

【0020】よって、本発明の第1の実施例では、少な い部品点数で簡単に磁気ディスク装置を電子機器の筐体 内に設けられた電子回路基板に直接搭載することが可能 となる。

【0021】さらに、図3を参照すると、本発明の第2 の実施例は、少なくとも1つの磁気ディスク媒体、この 磁気ディスク媒体を回転させるスピンドルモータ、少な および電源を搭載し、さらに各端面に電子機器の筐体内 40 くとも1つの磁気ヘッドおよびこの磁気ヘッドを移動さ せる磁気ヘッド駆動部を筐体内に収納して組み立てられ たハードディスクユニット1と、このハードディスクユ ニット1の下面に取り付けられ、ハードディスクユニッ ト1を制御し、電子機器と信号を送受信するのに必要な 電子回路および電源を搭載し、さらに各端面に電子機器 の筐体内に設けられた電子回路基板4と電気的・機械的 に接続される複数のリード端子3を設けた制御回路基板 2と、電子回路基板4上に形成され、複数のリード端子 3とそれぞれ電気的・機械的に接続される複数のコンタ

ードディスクユニット1の上面と接触する放熱部8 a と 一端を放熱部8 a に固着するとともに他端をソケット5 の溝部5 a と係合するフック部8 b とから成る保持部材 8とを備えている。

【0022】ここで、ソケット5は、1対の対向する辺 の外側面に保持部材8のフック部8bの他端と係合する 溝部5aを有している。

【0023】保持部材8は、上面に複数のヒートシンク を有し、下面をハードディスクユニット1の上面(放熱 8 a と、略コ字状に曲折して形成され、一端を放熱部 8 aの下部に固着するとともに他端をソケット5の溝部5 aと係合させて、放熱部8aの下面をハードディスクユ ニットの上面に押し付けるフック部8 bとから構成され

【0024】これら放熱部8aとフック部8bとは別々 に形成した後接着剤等で固着しても良いし、初めから一 体形成しても良い。

【0025】次に第2の実施例の接続動作について図3 および図4を参照して説明する。

【0026】初めに、ハードディスクユニット1 および 制御回路基板2から成る磁気ディスク装置を電子回路基 板4上のソケット5に挿入して、制御回路基板2の各端 面に設けられた複数のリード端子3とソケット5の各辺 の内側面に設けられた複数のコンタクト7とを電気的・ 機械的に接続する。

【0027】続いて、保持部材8のフック部8hの他端 を互いに外側方向に変位させる。

【0028】さらに、複数のリード端子3と複数のコン タクト7とがそれぞれ電気的・機械的に接続された状態 で、保持部材8の下面をハードディスクユニット1の上 面と接触させる。

【0029】最後に、フック部8bの他端を耳いに内側 方向に変位させてソケット5の溝部5 a と係合し、フッ ク部8bの弾性力により放熱部8aの下面をハードディ スクユニット1の上面(放熱面)に押し付けて、ハード ディスクユニット1を電子回路基板4上に固定する。

【0030】よって、第2の実施例では、熱伝導性の良 好な部材から成る放熱部とこの放熱部をハードディスク ユニットに押し付けるフック部とから構成される保持部*40

*材を設けたため、ハードディスクユニット内部で発生す る熱をハードディスクユニット外部に効率良く放熱する ことができ、装置の信頼性を向上させることができる。 [0031]

【発明の効果】以上説明したように、本発明の磁気ディ スク装置の実装構造では、少ない部品点数で簡単に磁気 ディスク装置を電子機器の筐体内に設けられた電子回路 基板に直接搭載することが可能となる。

【0032】また、本発明の他の磁気ディスク装置の実 面)と接触させる熱伝導性の良好な部材から成る放熱部 10 装構造では、熱発生源であるハードディスクユニットの 上面に熱伝導性の良好な部材から成る複数のヒートシン クを接触させることにより、効率良く放熱することがで き、装置の信頼性を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例を表す斜視図である。

【図2】本発明の第1の実施例を表す側面図である。

【図3】本発明の第2の実施例を表す斜視図である。

【図4】本発明の第2の実施例を表す側面図である。

【図5】従来の磁気ディスク装置の実装構造を示す斜視 20 図である。

【図6】従来の磁気ディスク装置の実装構造を示す斜視 図である。

【符号の説明】

ハードディスクユニット 1

2 制御回路基板

リード端子 3

電子回路基板 4

5 ソケット

5 a 溝部

6 係止部

> 7 コンタクト

8 保持部材

8 a 放熱部

8 b フック部

10 インターフェイスコネクタ

1 1 フレーム

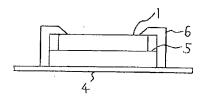
12 ネジ

1.3 固定金具

14 信号ケーブル

15 電源ケーブル

【図2】



【図4】

